

主日礼拝

2025年3月16日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。
 主よ、この声を聞き取ってください。
 嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。
 主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら
 主よ、誰が耐ええましょう。
 しかし、赦しはあなたのもとにあり
 人はあなたを畏れ敬うのです。」(詩編 130:1~4)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも、
 めぐみにあふれるちち・せいれいを。
 アーメン。

受難節のリタニー

《受難節第2主日》

司式者：私たちは、弟子たちと同じように無関心で、
 責任を捨てたことがあります。これからは
 もっと責任感を強めてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：弟子たちが「目を覚ましていなさい」との
 イエスさまの言葉にもかかわらず、居眠りを
 していたことを思いつつ、このろうそくを
 消します。(消火)

賛美 11-1,3 「感謝にみちて」

Nun danket alle Gott
 詞：Martin Rinckhart, 1586-1649
 NUN DANKET
 曲：Martin Rinckhart, 1586-1649

1 感謝にみちて みかみをたたえん。
 3 栄光とさんび ささげてうたわん。
 すべてささげ みわざをうたわん。
 ちなるかみ み子とせいれいに、
 はのたいにありし日よりあむかしいまし いまもいましと
 がないたもうかみのちから。
 わにいますひとりの主。

1 感謝にみちて み神をたたえん。 3 栄光と賛美 ささげて歌わん。
 すべてささげ みわざをうたわん。 父なる神 み子と聖霊に、
 母の胎にありし日より 昔いまし今もいまし
 あがないたもう 神の力。 永遠にいますひとりの主に。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
 主よ、あわれみを。主よ、あわれみを。
 キリエ・エレイソン。
 主よ、あわれみを。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 12:22~32

新約(新共同訳)P22

22 そのとき、悪霊に取りつかれて目が見えず口の利けない人が、イエスのところに連れられて来て、イエスがいやされると、ものが言え、目が見えるようになった。23 群衆は皆驚いて、「この人はダビデの子ではないだろうか」と言った。24 しかし、ファリサイ派の人々はこれを聞き、「悪霊の頭ベルゼブルの力によらなければ、この者は悪霊を追い出せはしない」と言った。25 イエスは、彼らの考えを見抜いて言われた。「どんな国でも内輪で争えば、荒れ果ててしまい、どんな町でも家でも、内輪で争えば成り立って行かない。26 サタンがサタンを追い出せば、それは内輪もめだ。そんなふうでは、どうしてその国が成り立って行くだろうか。27 わたしがベルゼブルの力で悪霊を追い出すのなら、あなたたちの仲間は何の力で追い出すのか。だから、彼ら自身があなたたちを裁く者となる。28 しかし、わたしが神の霊で悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ているのだ。29 また、まず強い人を縛り上げなければ、どうしてその家に押し入って、家財道具を奪い取ることができるだろうか。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。30 わたしに味方しない者はわたしに敵対し、わたしと一緒に集めない者は散らしている。31 だから、言うておく。人が犯す罪や冒瀆は、どんなものでも赦されるが、“霊”に対する冒瀆は赦されない。32 人の子に言い逆らう者は赦される。しかし、聖霊に言い逆らう者は、この世でも後の世でも赦されることがない。」

賛美 305 「イエスの担った十字架は」

Mat de boom des levens
詞: Wilhelmus Barnard, 1920-2010
曲: Ignace de Sutter, 1911-

1 イエスの担った十字架は
2 いのちの木となり
3 良い実をむすぶ。
4 キリエ・エレイソン、
5 (主よ、あわれみを)
6 死のとりこから
よみがえらせてください。

おもいたわすら - い主にゆだねよ。
あさきたのわ - ざ - をたみは - しゆくす。
栄光のみ - く - に - へかえ - ら - そ の日、

くもとかぜに - もみちをし - め - す
いっもあな - の - さにす - す - み
もくひょうめ - ぎ - すあなたの - た - め
しょうりのかんむ - りあ - たえ - ら - れ - て

かみはあゆみ - をし - み - ちび - か - れ - る。
ひなををてつ - と - み - あ - たえ - ら - れ - る。
よかするこびのう - た - と - もに - う - た - おう。

(くりかえし)
キリエ・エレイソン、死のとりこから
(主よ、あわれみを)
よみがえらせてください。

- | | |
|--|--|
| 1 イエスの担った十字架は
いのちの木となり
良い実をむすぶ。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 | 4 さばきの日にも 恵みで
すくいをくださる
神をたたえよう。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 |
| 2 われらのゆくて みちびいて、
われらの心に
平和をください。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 | 5 世は破滅へと追い立てる。
「なぜ迷うのか？」と
天は問われる。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 |
| 3 世の民われを 責めるとき
「すべて過ぎ去る」と
天は言われる。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 | 6 肩にくいこむ十字架は
いのちの木となり
豊かに実る。
キリエ・エレイソン、
(主よ、あわれみを)
死のとりこから
よみがえらせてください。 |

説教 「悪と戦い癒やす主」

賛美 528 「あなたの道を」

Befiehl du deine Wege
詞: Paul Gerhardt, 1607-1676
曲: Johann M. Haydn, 1737-1806

1 あな たの - み - ち - を主 にま - か - せ - て
2 ど ん な - き - に - もみち を - そ - せ - え、
3 あ く が し - は - い - しお ど す - と - き - も
4 は し る ベ - き - み ち を は し り - お - え - て

おもいたわすら - い主にゆだねよ。
あさきたのわ - ざ - をたみは - しゆくす。
栄光のみ - く - に - へかえ - ら - そ の日、

くもとかぜに - もみちをし - め - す
いっもあな - の - さにす - す - み
もくひょうめ - ぎ - すあなたの - た - め
しょうりのかんむ - りあ - たえ - ら - れ - て

かみはあゆみ - をし - み - ちび - か - れ - る。
ひなををてつ - と - み - あ - たえ - ら - れ - る。
よかするこびのう - た - と - もに - う - た - おう。

- | | |
|--|---|
| 1 あなたの道を 主にまかせて
思いわずらい 主にゆだねよ。
雲と風にも 道を示す
神は歩みを 導かれる。 | 3 悪が支配し おどす時も
先立つ神は 戦われる。
目標めざす あなたのため
なすべき務め 与えられる。 |
| 2 どんな時にも 道を備え、
あなたのわざを 神は祝す。
いつもあなたの 先に進み
光を照らし 導かれる。 | 4 走るべき道を 走り終えて
栄光のみ国へ 帰るその日、
勝利の冠 与えられて
喜びの歌 共に歌おう。 |

派遣

- 司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司式 要田 悟史
説教 向井 希夫牧師
奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。